

第24回地域福祉実践研究セミナー IN 愛知・半田

ワークショップ 第3分科会 報告
(テーマ)

0歳から100歳のすべての人が安心して暮らせる地域づくりをめざした
—地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の戦略—

実践報告者

NPO法人 りんりん

理事長

渡邊千恵

半田市包括支援センター

センター長

澤田 道

アドバイザー

日本福祉大学客員教授

白澤 政和

日本地域福祉研究所

主任研究員

國光登志子

参 加 者 状 況

1. ワークショップ会場名 **NPO**法人りんりん

2. 参加者数 29人

内訳	社会福祉協議会	10 人
	地域包括支援センター	3 人
	行政	1 人
	NPO 法人	2人
	財団・研究所	4 人
	学生	5 人
	スタッフ	4 人

グループワークのファシリテーターとして半田市の高齢介護課、市民協働課地域福祉課、市社協から2人計5人がワークを促進した。

目 的

「0ー100歳のすべての人が安心して暮らせる地域づくり」を目指して
半田市「岩滑区」が地域の特性を活かして取り組んできた地域共生社会の
実現に向けた実践報告を受けて、各地からの参加者が持ち寄った「自らの地域
課題と住民との協働」をワークショップにより共有し、討論の結果、参加者が
持ち帰れるヒントを探していく。

- * 自分たちの地域でも似たような課題はないか
- * // 実践していること
- * // 実践したいと考えていること
- * // 実践したけどダメだったこと
- * 地域共生社会の実現に向けて、必要な条件を考え、ヒントを持ち帰る。

展 開 方 法 （ 1 ）

1 セミナー参加に向けて事前課題の案内

セミナー開催 1 週間前に第 3 分科会参加者に事前課題の案内

- ①当日の流れを理解してもらうためにシラバスを送付
- ②アイスブレイクとして大名刺交換会用に各自、名刺を 4 0 枚程度持参すること
- ③参加者の地域の課題と地域実践を共有するために、自分の地域の地域課題と地域実践の参考資料を持参する

事前課題シート

地域支援計画表

ニーズ	目標	活動内容	担当・役割	場所	実施時期

白澤政和著「地域のネットワークづくりの方法」より

展 開 方 法（２）

半田市の実践報告 （１）NPO法人りんりんのあゆみ（抜粋）

1994年5月18日退院直後のひとり暮らし男性の生活支援を7人の女性でスタート

1999年8月「NPO法人りんりん」登記 半田市で第1号

2000年4月介護保険サービス 指定訪問介護、指定居宅介護支援スタート

2001年6月デイサービスりんりん開所 10名の小規模でいさーびすオープン

2003年4月障害福祉サービススタート

2006年6月短時間デイサービス「デイサービスやなべ」開所（10時～13時15分）

2007年4月産後期支援ヘルパー派遣事業、7月特養ホームに地域の人向け喫茶コーナー開設

2008年4月学童保育所リンゴクラブ開始

2008年9月第1回童話の秋祭りに参加 20010年7月 りんりん茶屋オープン

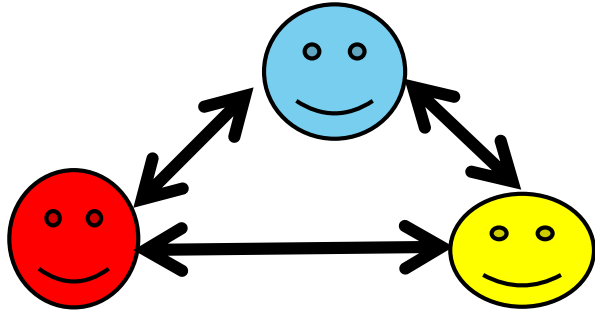
2015年12月夢リンゴ（児童発達支援・放課後デイサービス）開始 やなべっ子ハウスから子ども学習
支援事業へ

半田市の実践報告（２）「ごんの灯り」にて見守り開始

朗と朗暮守り名と受援者 6 名で見守りを開始。

らない

直ぐには広が



- ◆ 3件を1組にて見守りを実施。
- ◆ 細かい決まりをつくらない。
- ◆ 灯りのルールは各グループで決める



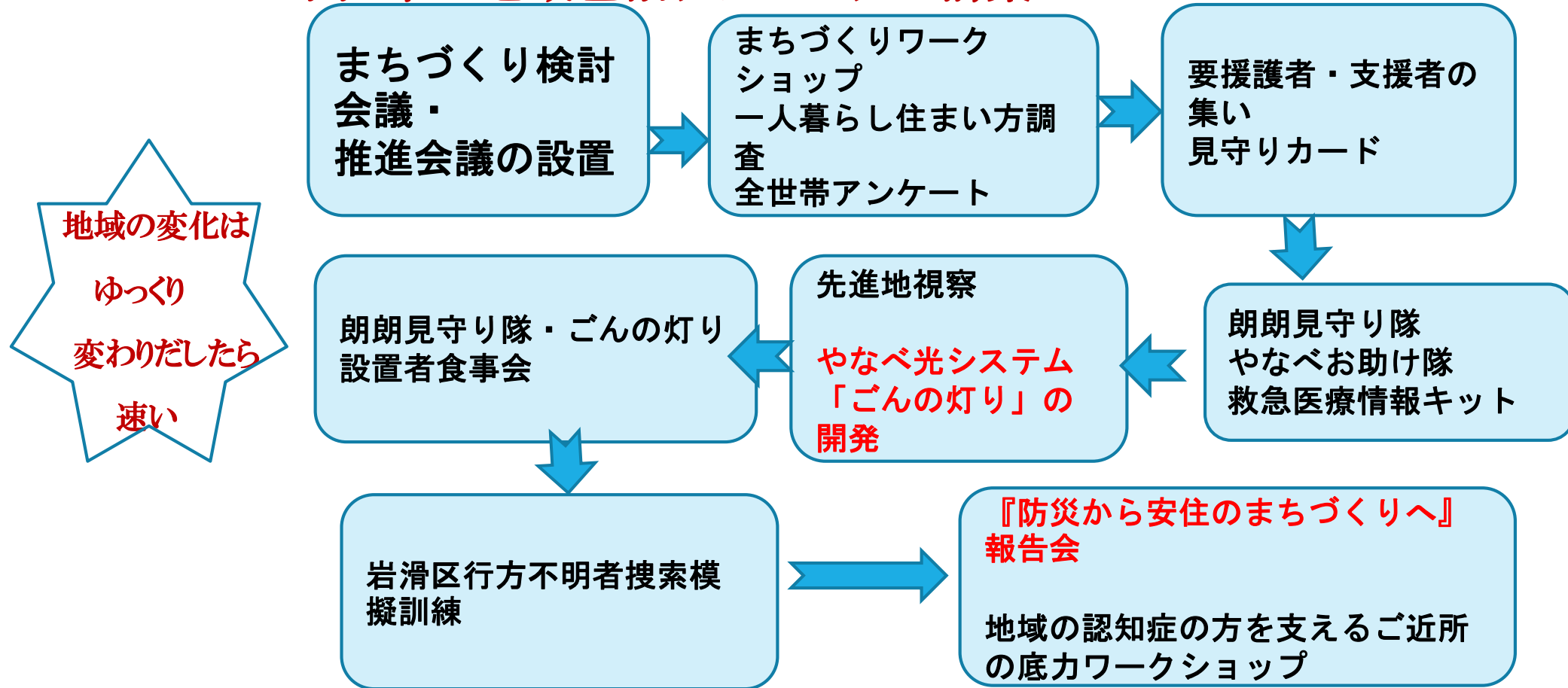
ごんの灯りによる見守り効果

- 機械を通して人とのつながりができていく。
- 見守り、見守られ、それぞれに役割ができていく
- 輪がひろがることで地域全体の防犯になる。

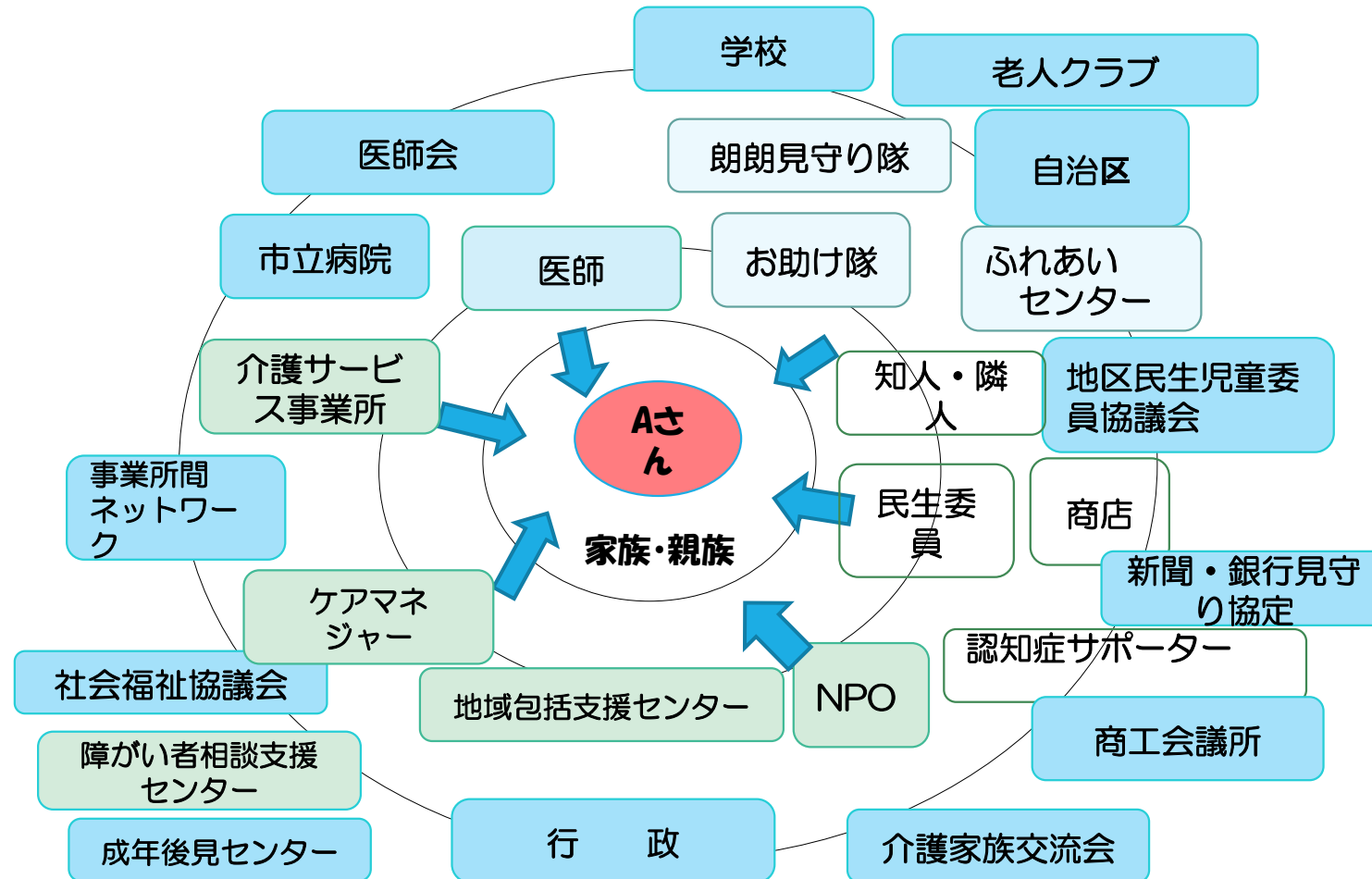
半田市の実践報告（３） 岩滑区「防災から安住の町づくり」事業

地域住民、PO法人、社協が「防災から安住の町づくり」事業を通して地域づくり、

半田市の地域包括ケアシステム構築のプロセス



個別支援ネットワークから地域ネットワークへ



半田市の課題から発展させる

午前

1. 地域の器(仕組み)作って
器の中身の質と量

2. 地域共生社会

- ・我が事...専門職がどう地域に関わっていくか
キーパーソン探し・タイミング



午後

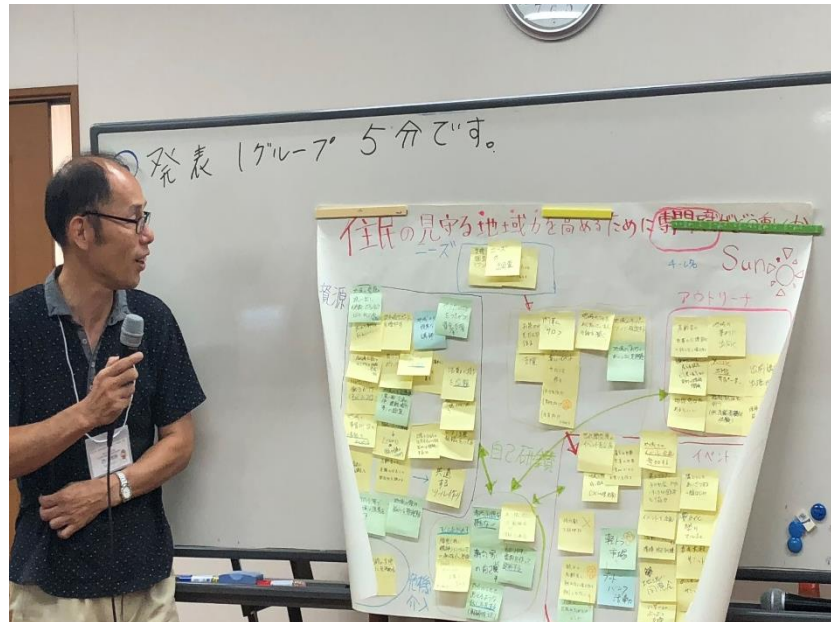


- ・住民に「我が事」意識を持ってもらうための器の中身の検討（グループワーク）

グループワークのアイデアを地域に還元



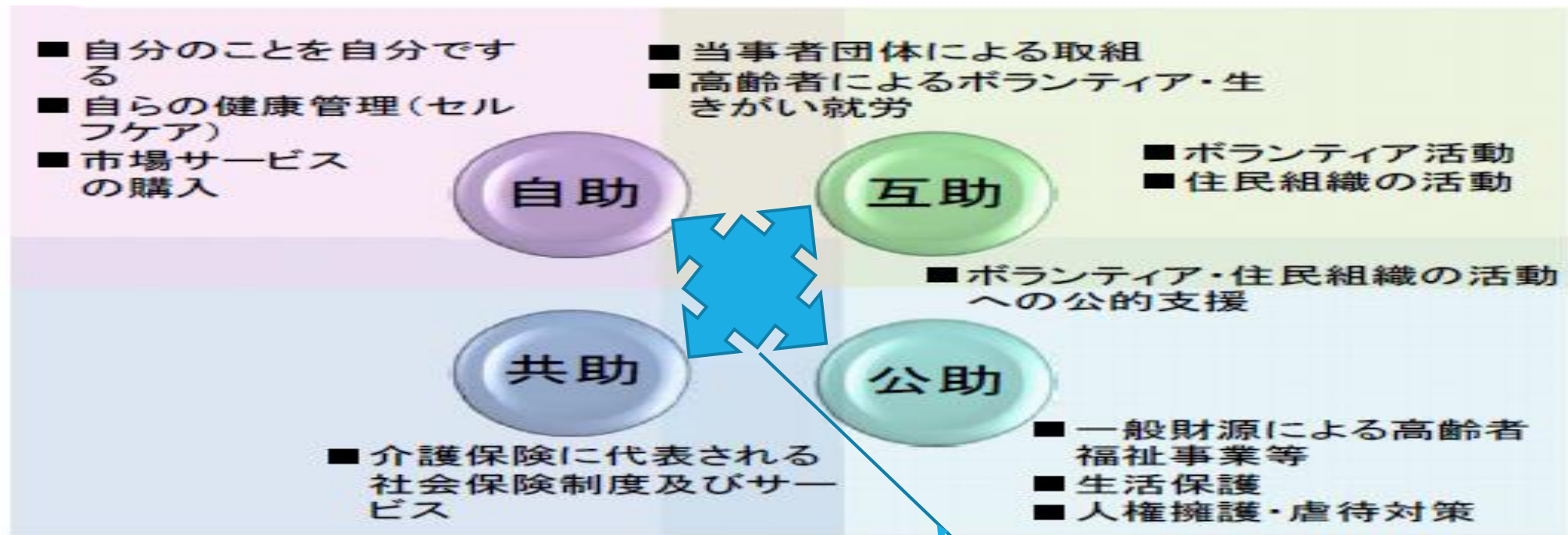
- ★事前課題で考えてきた自分の地域課題や目標を共有
- ★普遍化する課題解決へのワーク
- ★斬新なアイデアの交換



必要なもの

目標	実施内容	担当・役割	場所	実施時期
居場所づくり	市役所内に 相談窓口を設ける	総務・合同庁	福祉会館 301K	24月1112
地域の子育て支援	市内全域の 子育て支援センターを 開設する	行政・福祉部	福祉会館 102K	24月1112
社会福祉の充実	市内の 社会福祉協議会を 強化する	福祉部	福祉会館 102K	24月1112
高齢者の生活支援	市内の 高齢者福祉センターを 開設する	行政・福祉部	福祉会館 102K	24月1112
地域の子育て支援	市内の 子育て支援センターを 開設する	行政・福祉部	福祉会館 102K	24月1112

計画表にて「可視化」「共有」にチャレンジ



地域力を高めるには

☆他人事を**我が事**に思えるような働きかけ

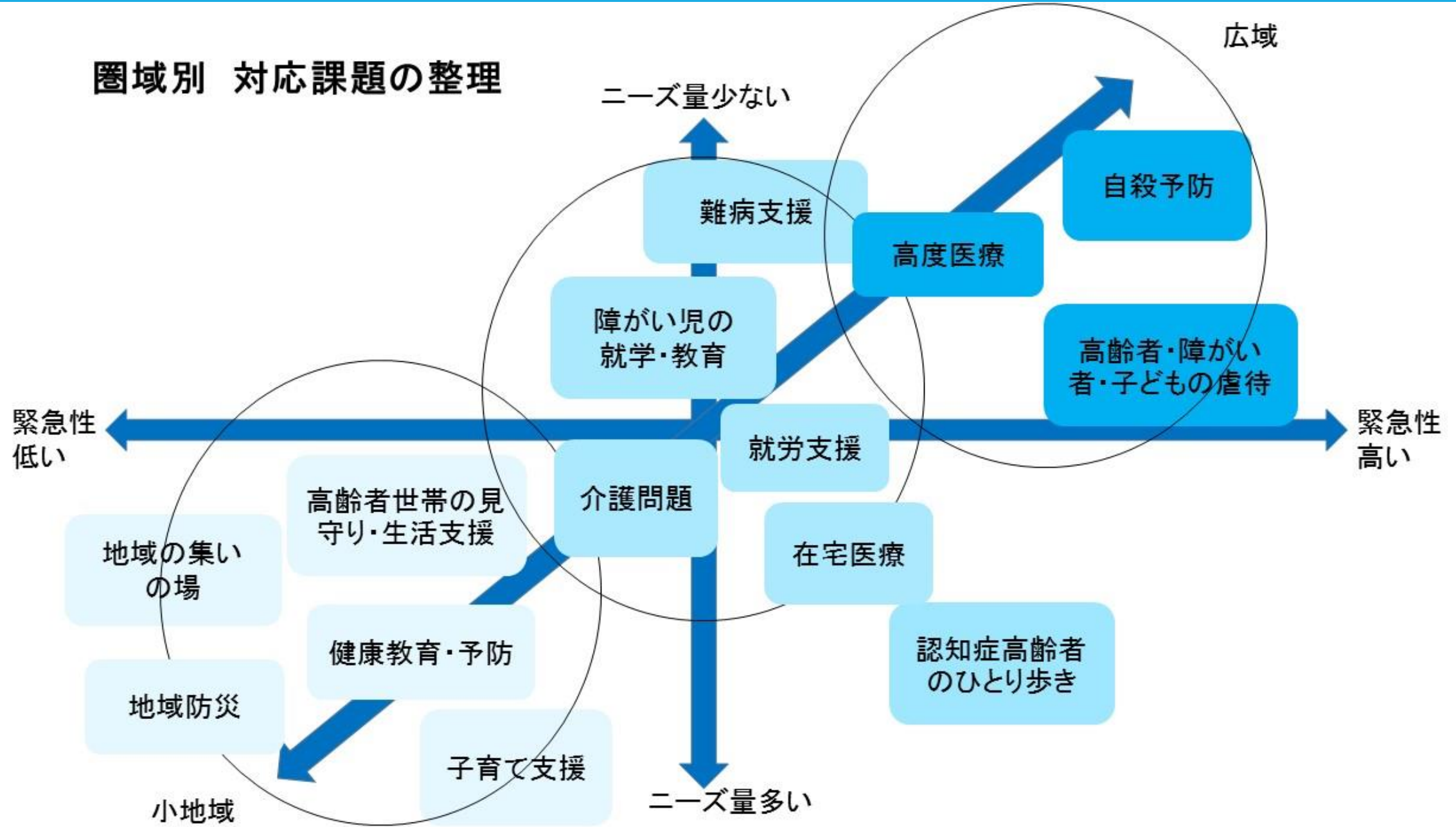
⇒ **バランスを重視**

☆福祉、医療、教育、環境、農林 水産、観光などの各分野

における場や人材(**地域の宝**)とつながる。

⇒ **タイミングを逃さない**

圏域別 対応課題の整理



結論・今後の展望

- 1 個別支援から地域支援に展開し、個別支援に戻る
- 2 地域ケア会議は個別課題の検討から政策形成にまで繋げる
- 3 (1)平成的見守り 見守られることへの反発 ⇒ 監視されているようで嫌
遠巻きに変化のないことの確認が大切
(2)昭和的見守り 子どもの見守り・支援は両親、兄弟姉妹、友達などコテコテに

アドバイザーコメント * スtrenグスの視点 個人も地域もいいところ探し・強みを
* 利用者と住民主体と双方向の関係
* 発言できない人、訴え難い人へのアプローチ
* アウトプットとプロセスの整理
* 地域づくりに必要な専門職の3つの能力

ファシリテーション力、ネゴシエーション力、フzンドレージング力

最後に第3分科会の準備、運営に御協力戴いたNPOりんりん、半田市地域包括支援センター、全国から参加された皆様、ありがとうございました。

感謝！



心のこもった
りんりんランチ